

アクセスマップ

入口手前が駐車場です



右に曲がります



東浦自然環境学習の森 (所在地): 東浦町大字緒川字大藪一区10番地

お問い合わせ 東浦町 生活経済部環境課

〒470-2192 愛知県知多郡東浦町大字緒川字政所20番地

電話番号: 0562-83-3111 ファックス: 0562-83-9756

<http://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/soshiki/kankyo/kankyohozen/gyomu/mori/1452566830678.html>



東浦自然環境学習の森 ガイドブック



春

秋



ひがし うら し ぜん かん きょう がく しゅう
東浦自然環境学習の森へようこそ!



夏

冬

キキヨウ

ヒラタクワガタ

カブトムシ

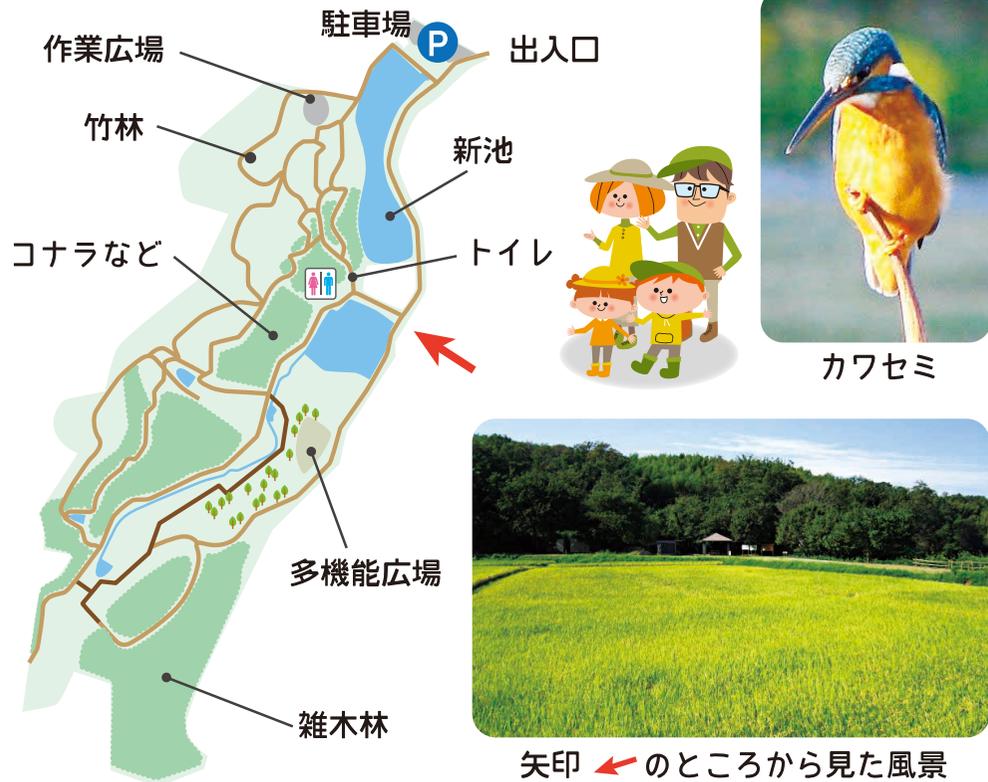
コフキトツポ

マンリヨウ

マガモ

東浦自然環境学習の森ってどこにあるの？

東浦自然環境学習の森は、町役場から西へ約1.3km行った東浦町のほぼ中央にあります。面積は約17ヘクタールです。



矢印 ← のところから見た風景

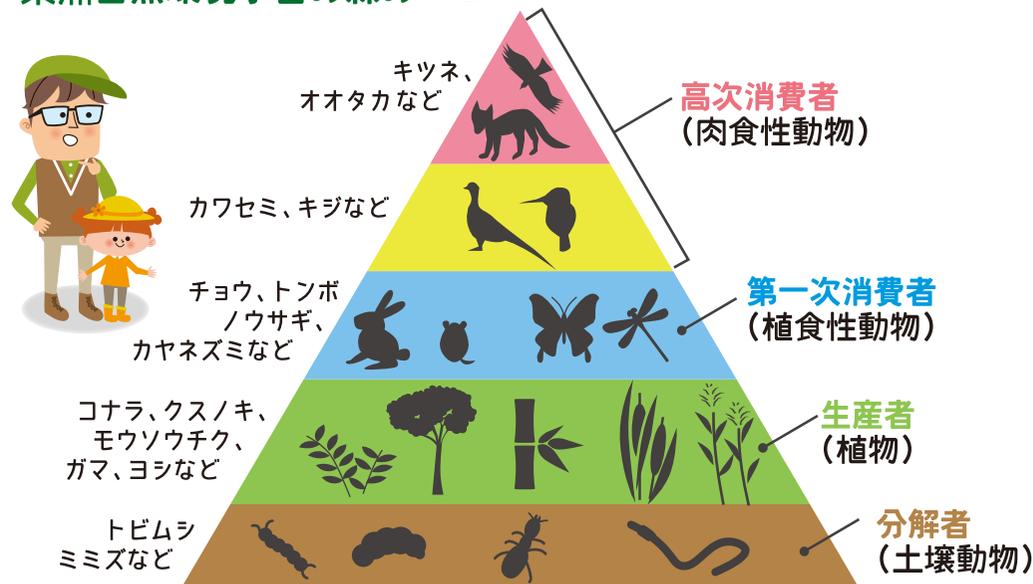


どんなところ？

東浦自然環境学習の森は、南北に細長く、北西と南西に丘があって、中央が谷になっています。谷の部分には、新池という池や水田、草地があります。北西の丘は、竹林とコナラなどが広がっています。南東の丘にも、コナラなどの雑木林があります。これらの水田や森林はまとめて里山の風景をかたちづいています。ここには、カブトムシやトンボなどの昆虫、カモ、カワセミなどの鳥、タヌキ、キツネなどがいます。東浦自然環境学習の森は水と緑に恵まれ、たくさんの種類の生き物が住んでいる貴重な場所です。



東浦自然環境学習の森の生態系



東浦自然環境学習の森の歴史

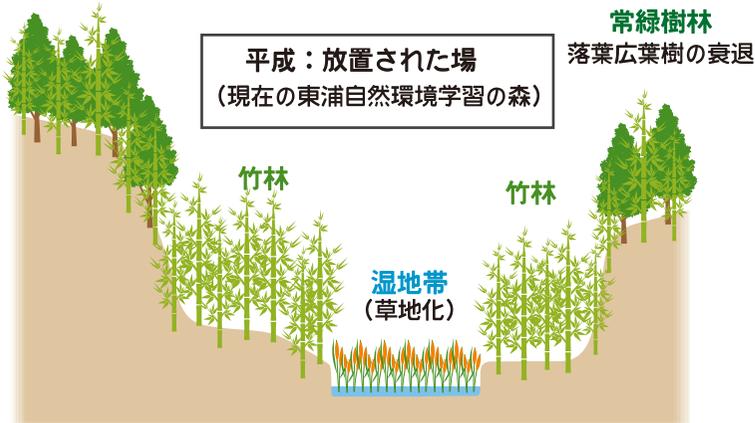
昭和30年代ごろまでは、里山は人々の生活の場でした。山では松をきってまきとして使い、斜面の草地では牛を飼っていました。草地の草は牛のえさになり、牛のふんは田んぼや畑の肥料になりました。



- 山**
松林：
まきに使う
- 斜面**
草地・畑：牛を飼う
野菜を作る
- 谷**
田んぼ：米を作る

昭和40年代になると、人々は石油を使うようになり、まきや炭を使わなくなると、森の木をきらなくなりました。また、化学肥料を使うようになり、牛も飼わなくなると草も刈らなくなりました。平成になると斜面の草地だったところに竹が茂り、谷では田んぼが少なくなると、草地が増えました。

常緑樹林
森林に竹が侵入

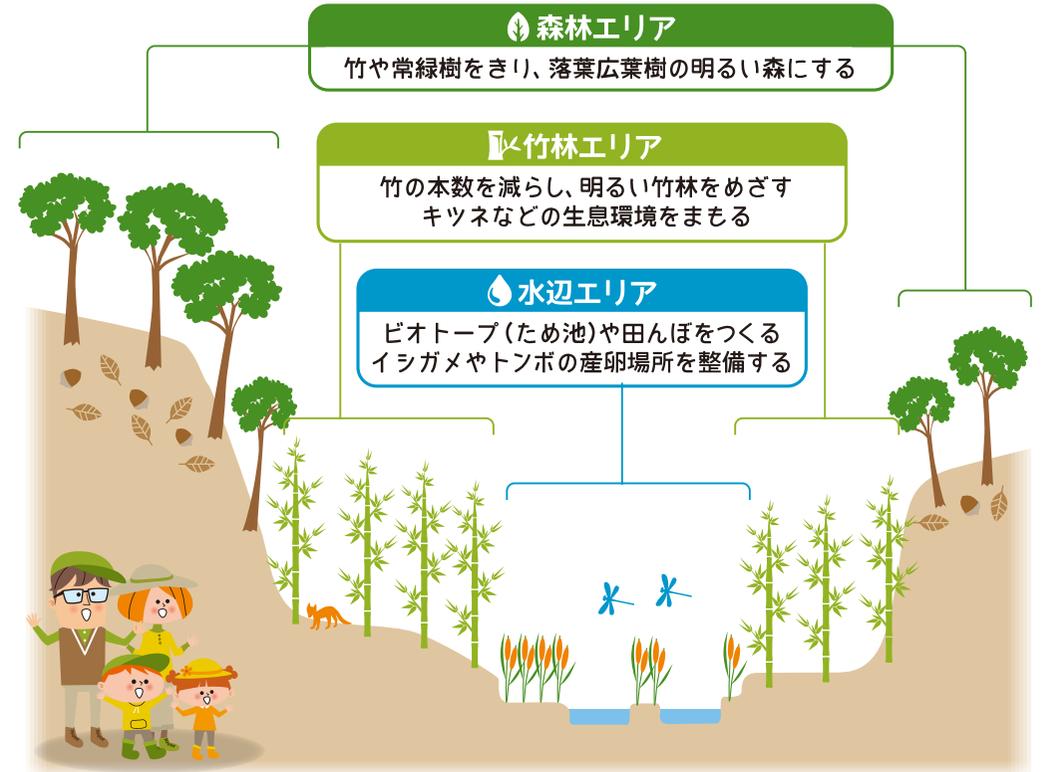


平成：放置された場
(現在の東浦自然環境学習の森)

- 山**
常緑樹が多い
暗い森
- 斜面**
竹が茂る
暗い林
- 谷**
荒れた草地

めざす森の姿

多様な生物を育むだけでなく、人と自然のふれあい、人と人との交流、生きがいを感じる場としての森を目指します。



東浦自然環境学習の森 保全・育成の会 活動団体

- ・竹林部会
- ・水辺部会
- ・東浦竹灯籠の会
- ・東浦里山フォレスト
- ・自然観察・生き物調査会

里山と生物多様性

里山は、人々が水辺に田んぼをつくったり、森林からまきをとったりした生活の場です。里山では、人の手が入ることによって、田んぼやため池、雑木林など、いろいろな環境ができています。このような場所には、たくさんの種類の生き物が住むことができ、里山は、生物多様性の高い環境になっています。生物多様性とはたくさんの種類の生き物たちが互いに関わりあって共に生きていることです。

学習の森に行ってみよう！



東浦くん一家が東浦自然環境学習の森にやって来ました！

自然観察するときの
服装と持ち物

- A ぼうし
- B 長そで
- C 長ズボン
- D 歩きやすいくつあるいは長ぐつ



【お父さん】
アウトドアが
好きな会社員

【妹】
お花や鳥が
好きな小学生

【ぼく】
虫取りや泥あそびが
好きな小学生

【お母さん】
町のイベントに
くわしい主婦

あったら便利なもの



虫あみ



カメラ



双眼鏡



虫眼鏡



ノート・筆記用具



水筒



地図



雨具



虫よけスプレー
虫さされの薬



ばんそうこう

入口の掲示板

イベントなどの情報が
掲示してあります。



入口

- ここが入口だな。
- 学習の森探検のはじまりだ！



今、活動中の
団体の表示があります。
途中で会ったら、森のことを
いろいろ教えてもらえます。

利用上のお願い

- 虫を持って帰っちゃ
いけないだね。
- 観察するだけなら
つかまえてもいいぞ。
- お父さん、お花と鳥の
写真、お願いね。
- 保全活動団体のイベントでは
タケノコ掘りや炭焼きも
できるわよ。

利用上のお願い

自然環境学習の森は、人と自然との関係を学ぶ場です。
ボランティアの方々のご協力によって、里山里山としての
保全活用を行っています。
みんなで協働して、この自然環境学習の森を育てていきましょう。

- 1 動物、植物の持ち込みや採取をしないでください。
- 2 生息している生きものに餌を与えないでください。
- 3 ペット連れの散歩はご遠慮ください。
- 4 保全活動以外の火の使用をしないでください。
- 5 ゴミは各自持ち帰ってください。
- 6 他人の迷惑となる行為をしないでください。

東浦町



①

新池



大きな池があるよ。



昔は水田用の
ため池だったんだよ。



マガモやカルガモ、
カイツブリなどいろんな水鳥が
やってくるんですって。



カルガモ見てみたい!



大きな葉っぱのオニバスが
生えているわね。
花も咲いているわ。



オニバス知ってる。
この前、於大公園でみたよ。



貴重な植物なんだってな。



魚は、いるのかな?



きっとコイやフナ、
ザリガニがいるぞ。



②

道なりに曲がると
あずまやがあります。



かわいい田んぼ!



ここでは、昔ながらのやり方で田植えや稲刈りなどの
体験イベントもやっているみたいよ。



今度参加してみる?



田植えの様子



③

もう少し先に行くと
トイレがあります。

④

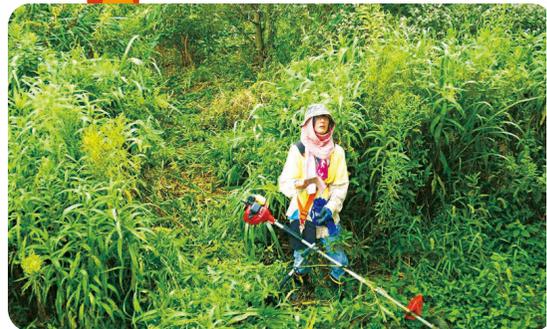
さらに先に進むと
小さな田んぼが見えます。
水辺部会が
活動している田んぼです。



稲刈りの様子



あっ、草刈りしている人がいるわ。こんにちは！



水辺部会の方でした。



オニヤンマ



リスアカネ



モノサシトンボ



カトリヤンマ



チョウトンボ

水辺部会は、水路の手入れ、田んぼでの米づくりを行い、トンボの楽園をつくるために、水辺の環境を整備しています。

トンボが産卵できるようにするためには草刈りが必要なんですわ。



あし原



カヤネズミの巣



あっ。何かの巣があるよ？鳥の巣かな？

これはカヤネズミの巣だよ。



へえ。こんなところに巣をつくるんだ。面白いね。



あずまやのところで戻って、横の道を登って竹林エリアに行ってみよう。



お花もあるね。



ハギの花よ。



作業広場についたよ



竹林部会の方々が活動中でした。今日は作業広場の草刈りです。



作業広場には炭焼き窯があります。これで竹炭を作ります。窯を使わないで、ポラス炭を作ることもあります。

炭を作るのも面白そうだな。

ポラス炭は畑の土の改良材に使えるそうだね。



竹林部会では竹の伐採と伐採した竹を活用した竹炭づくりを行っています。京都の竹林のような風情のある竹林を目指しています。





手入れされた竹林ってきれいね。
竹林の中を傘をさして歩けるくらいが
いいんですって。



竹は生長が早いから手入れが大変だな。
運び出すのも大変そうだ。



タケノコ掘りのイベントも
竹林の手入れになっているのよ。
竹の運び出しは、小中学生のグループが
お手伝いしてくれたりするようだけど、
まだまだ手が足りないみたいよ。

東浦自然環境学習の森では、毎年タケノコ掘りのイベントが開催されます。



タケノコ掘りの様子



竹の運び出しの様子



タケノコ掘り
やってみたーい。

初夏の竹の落ち葉も
きれいなんですって。
見てみたいわね。



6

ふたたび、降りていくと東浦竹灯籠の会の方々が
森のカフェで休んでいました。 お話を聞いてみましょう。



森のカフェって看板がかわいいね。

楽しそうね。



東浦竹灯籠の会は、伐採した竹を活用した竹灯籠作りや
竹細工教室などを行っています。



於大まつり前夜の宵祭り

於大まつりの
前夜に行う宵祭りの
竹灯籠はここで
伐採した竹を
使っているのね。

お祭りの竹灯籠
きれいだったね。



竹灯籠の会では
竹灯籠を町外に
貸し出したり、
作り方を教えに
行ったりしている
そうだよ。



町外でも有名なんだね。



竹灯籠





7 今度はまた、丘に上がって森林エリアに行ってみよう!

うわー。ジャングルみたい。

ちょっと木が込みすぎている感じがするわね。



広葉樹の林

こっちのほうは、込み合った木をきっていて明るいぞ。

明るい森っていいね。

何か音がするよ。

木をきっている音かもしれないな。



東浦里山フォレスターの方々が広葉樹林に侵入した竹の伐採をしたり、伐採した木を片付けたりしていました。



東浦里山フォレスターは木の間伐、枯れ木の伐採、植樹などを行い、落葉広葉樹の明るい森をめざしています。

※間伐・・・込み合った木をきること

お父さんも木をきってみたいなー。

ほくもきってみたいー。フォレスターってなんだかカッコいいひびきだよ。

危ないことはだめだけど、子供が参加できるイベントもあるみたいよ。



キノコの菌打ち



間伐体験



8 いったん、谷までおりて、木道を渡って反対側の森に入ってみよう。



コナラの実



冬の森の様子

このエリアでは木をきらず、木の生え方を自然にまかせることにしています。

こっちには竹は生えていないだね。

どんぐりがいっぱいあるよ。



ここはコナラの木が多いんだね。コナラは落葉樹だから、冬には葉が落ちて、他の背の低い植物も育つんだよ。

里山らしい森林が残っているのね。

こちらの森では、自然観察・生き物調査会の方々が保全活動をしていました。

自然観察・生き物調査会は学習の森全域で、希少な植物や動物を守る活動を行っています。また、四季を通して自然観察会を開催し、学習の森の自然の魅力を発信しています。



自然観察会の様子

今度、自然観察会に来てみたい。森にはたくさんの種類の植物や動物がいるみたいね。

ぼくはどこにどんな生き物がいるのか、知りたいな。

希少な動植物について

東浦自然環境学習の森には、絶滅危惧種の名ゴヤダルマガエル(環境省レッドリスト2020による)、カヤネズミ(レッドリストあいち2020による)など希少な動植物の生息が確認されています。また、知多半島で絶滅したと考えられていたホンドギツネの巣づくりが確認されています。保全活動団体は毎年の調査をもとに希少な動植物に配慮した保全活動を行うことになっています。



ホンドギツネ

この学習の森にきつねがいるんだね。

ごんぎつねの作者ゆかりの、知多半島では、シンボルになる動物だから大事にしたいわね。

お父さんは、木をきってみたくったな。

田植えやタケノコ掘りのイベントにも参加してみたいわね。

学習の森、面白かったね。また、来たいね。今度はカブトムシやクワガタを見たいなあ。

もっとたくさん、お花や鳥を見たいな。

東浦自然環境の学習の森には他にもいろいろな動植物がいて、里山の魅力がいっぱいです。みんなでこの貴重な里山を守っていきましょう。さらに興味を持ったら保全活動にも参加してみよう。

